

「サイバーセキュリティセミナーin徳島」を開催 《新たな脅威に負けない！ 生成AI時代のサイバーセキュリティ》

- 総務省四国総合通信局は、令和5年11月21日（火）に「サイバーセキュリティセミナーin徳島」を徳島市で開催（ハイブリッド）し、**四国各県の企業、自治体、商工会議所、銀行、病院、大学、警察、国の機関等から、現地・オンライン計約110名の参加**がありました（このセミナーは「四国サイバーセキュリティネットワーク※」の取組の一環として開催しました）。
※<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>
- セミナーでは、生成AIの利用を見越したサイバー攻撃の現状や実現性のある対策等に関する**講演**や、地域におけるサイバーセキュリティ対策の取組を共有するとともに、地域の企業や個人が講じるべき対策と共助のあり方について考える**パネルディスカッション**を実施し、サイバーセキュリティ対策強化の重要性等について理解を深めていただきました。

■ 講演 1

「身近に忍び寄るサイバー攻撃とその実現性のある対策
～さらなる生成AIによるリスクにも備えて～」

神戸大学大学院 工学研究科教授 **森井 昌克 氏**から、生成AIの利用を見越したサイバー攻撃の実際と現状、今できる実害を被ることのない実現性のある対策等についてご説明いただきました。

■ 講演 2

「サイバー攻撃を巡る最新動向と対策事例」

国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)

ナショナルサイバートレーニングセンター長 園田 道夫 氏から、AI技術を悪用したケースを含むサイバー攻撃の最新動向やその対抗策についてお話いただくとともに、対応力の向上に向けた演習についてご紹介いただきました。

■ パネルディスカッション

「サイバーセキュリティの新たな脅威から地域を守るために」

森井教授にモデレーター、園田氏にアドバイザーをお務めいただき、**徳島県警察本部 富田 勲氏、徳島商工会議所 白草 義浩氏、阿波銀行 後藤 直樹氏**をパネリストとしてお迎えして、AIを用いるなど新たなサイバー攻撃の脅威も加わる中で、地域の現状と問題点を踏まえつつ、今後取り組むべき共助のあり方について意見交換を行いました。



＜富田氏＞
徳島県サイバーセキュリティ協議会の取組状況についてご紹介



＜白草氏＞
「サイバーセキュリティお助け隊サービス」についてご紹介



＜後藤氏＞
金融機関におけるサイバーセキュリティの取組をご紹介

* 参加者アンケートより

「生成AIを絡めたサイバーセキュリティに関する最新動向に関する情報を入手できた」

「生成AIやXaaSが使われているのを知ってセキュリティに対する危機感が増した」

「事例に基づく対策説明があり有意義だった」

「中小企業が抱えている悩みや、徳島県のセキュリティに関する取組の現状を知ることができてよかった」



＜会場の様子＞



＜パネルディスカッション＞



＜展示コーナー＞